

**MARSHAL**

第3世代  
クローンHDDスタンド  
エラースキップ機能搭載

**MAL-5135SBKU3**

SATA3.5/2.5インチとSSD専用クローンスタンド



取扱説明書

# 目次

はじめに	1
安全上のご注意	1-2
付属品の一覧	3
各部の名称と機能	3
ハードディスクの接続方法	4
パソコンと本製品を接続する	5
エラースキップ機能に関して	6
クローン HDD 作成時の注意点	7-8
クローン HDD 作成方法	9-11
フォーマット方法	12-16
フォーマット方法 (Windows8 / 8.1 / 10 の場合)	17-18
フォーマット方法 (Mac の場合)	19-24
よくあるお問い合わせ Q&A	25-26
サポート先へのお問い合わせ	26
本製品の仕様	27
広告	28-29
製品保証書	30
無償修理規定	31

# はじめに

このたびは「MAL-5135SBKU3」をお買い上げいただき誠にありがとうございます。本書をお読みになり、正しく設置・操作してください。また、お読みになったあとも大切に保管してください。

## 安全上のご注意

お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本製品を安全にお使いいただく内容を含んでおりますので、必ずご理解の上、守っていただきますようお願い致します。

### ⚠警告

- ◆本製品を使用する場合は、ご使用のパソコンメーカーが指示している警告、注意表示を厳守してください。
- ◆機器の分解や改良をしないでください。火災や感電の原因となります。
- ◆煙が出たり、異臭や異音がしたら、すぐに PC から USB プラグを抜いてください。また、その他製品の異常がありましたらご使用をやめ、速やかに弊社サポートまでご連絡ください。
- ◆本製品を濡らしたり、水気のある場所で使用しないでください。感電や火災、本製品の故障の原因となります。
- ◆接続コードの上に物をのせたり・キズつけたり・折り曲げたり・押し付け・加工など火災や感電の原因となりますので行わないでください。
- ◆ホコリがコネクタに付着したまま使用しないようにご注意ください。出火やデータが消去される原因となります。

### ⚠注意

- ◆本製品を暖房器具など熱をもつ器具の周りに設置しないでください。過熱による火災・感電の原因となります。
- ◆乳幼児の口に入る小さな部品があります。乳幼児の手の届かない所に保管してください。
- ◆本製品は精密電子機器ですので、身体の静電気を取り除いてからご使用ください。静電気を与えると誤作動や故障の原因となります。
- ◆アクセスランプが点滅している間は、電源を OFF にしたり、パソコンをリセットしないでください。故障の原因になったり、データが消去される恐れがあります。
- ◆動作中にケーブルを抜かないでください。
- ◆コネクタなどの接続には十分ご注意ください。
- ◆本製品を使用中にハードディスクを交換したりすると感電やデータが消去される恐れがあります。

- ◆エラースキップしてコピーを行った場合、コピーした HDD / SSD が正常に動作しない場合があります。あらかじめご了承ください。
- ◆足など身体の部分の上に落下、あるいは不用意にぶつけるなどすると、ケガの原因になります。不安定な場所に置かないようご注意ください。
- ◆セクター不良によって、フォーマットが破損、OS が起動しないファイルの破損などの症状が出ている場合は、エラースキップでコピーしても復旧することはございません。  
セクター不良が多数ある HDD は、エラースキップしますが、クローンが終了するまで通常より時間が掛かることがあります。  
クローン先の HDD にセクター不良がある場合は、クローンは行えません。

**【注意事項】**

- ◆本製品にはハードディスクは含まれていません。
- ◆本パッケージの記載内容は、改良その他により予告なく変更する場合がございますので予めご了承ください。
- ◆本製品は、全ての接続機器の動作を保証する物ではありません。
- ◆HDD レコーダー及びブルーレイレコーダーでの動作確認はおこなっていません。
- ◆2.5TB 以上の HDD を使用する場合、Play Station3 torne では対応していません。
- ◆社名及び製品名は各会社の商標または登録商標です。

# 付属品の一覧

本製品をご使用になる前に、次のものが付属されていることをご確認ください。万が一、欠品・不良品などがございましたら、お買い上げいただいた販売店までご連絡ください。

## ●MAL-5135SBKU3

□本体×1台

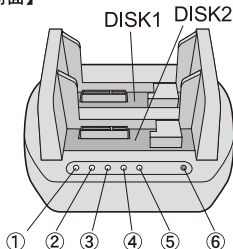
□ACアダプタ×1個

□USB3.0ケーブル×1本

□取扱説明書・製品保証書(本書)

# 本体各部の名称

## 【前面】



### ① パワーランプ

本製品の電源が入っているとき、緑色に点灯します。

### ② HDDアクセスランプ(HDD DISK1)

HDDにアクセスしている時に緑色に点滅します。

### ③ コピーモードインジケータ-25%

クローンHDD作成時に点滅または点灯します。

\*クローン時HDDに不良セクタがあった場合は、赤色に点灯します。

### ④ HDDアクセスランプ(HDD DISK2)

HDDにアクセスしている時に緑色に点滅します。

\*クローン時HDDに不良セクタがあった場合は、赤色に点灯します。

コピーモードインジケータ-50%

クローンHDD作成時に点滅または点灯します。

### ④ コピーモードインジケータ-75%

クローンHDD作成時に点滅または点灯します。

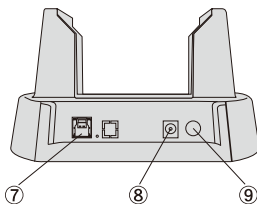
### ⑤ コピーモードインジケータ-100%

クローンHDD作成時に点滅または点灯します。

### ⑥ コピーボタン

クローンHDD作成する場合に使用します。

## 【背面】



### ⑦ USBポート

付属のUSBケーブルを使用して、本製品とパソコンを接続します。

### ⑧ 電源コネクタ (DC IN)

付属のACアダプタの電源プラグを差し込みます。本製品に添付されているACアダプタ以外は使用しないでください。

### ⑨ 電源ボタン

ボタンを押し込むと本製品の電源が入ります。もう一度ボタンを押すと電源が切れます。

\*クローン中HDD DISK1に不良セクタがあった場合、HDDアクセスランプのHDD DISK1が赤色で点灯します。(不良セクタをスキップしたサインです。)

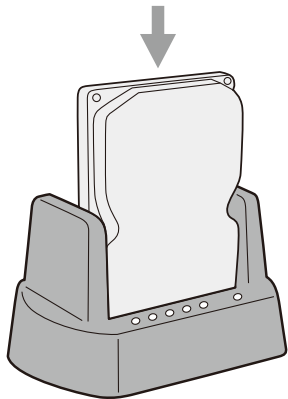
# ハードディスクの接続方法

## 【ハードディスクの接続方法】

本商品にハードディスク(別売り)を接続する作業です。

## 【ハードディスクを差し込むだけの簡単接続】

コネクタの向きに気をつけて、静かにまっすぐ矢印の方向に差し込みます。



本体のコネクタ部分の拡大図



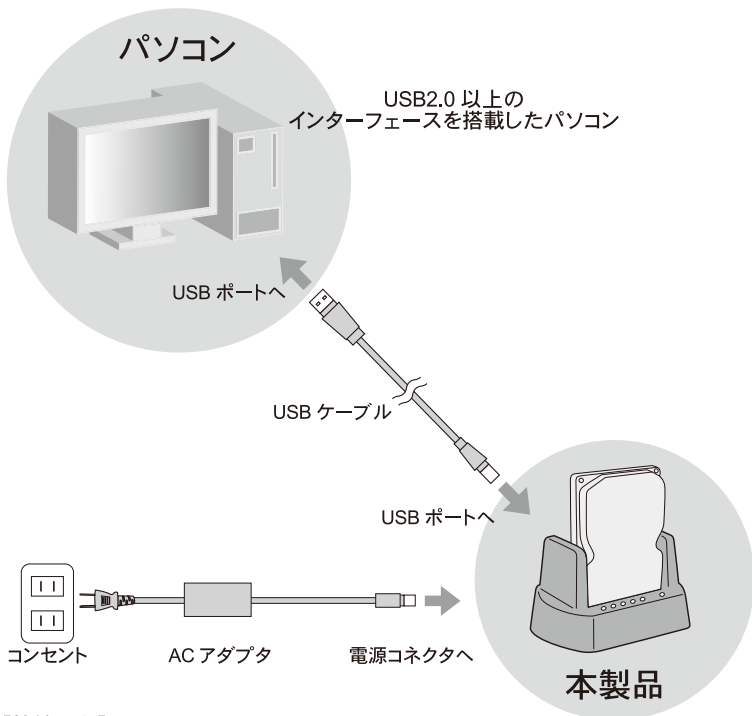
ドライブのコネクタ部分の拡大図

※ドライブ側のコネクタの向きを間違えたり、無理な抜き差しを行なうと破損の恐れがありますので、ご注意ください。

ハードディスクの SATA コネクタと、本体の SATA コネクタの向きに気をつけて、ハードディスクドライブを上からまっすぐ差し込みます。

# パソコンと本製品を接続する

ハードディスクを接続した本製品をパソコンに接続します。



## 【接続手順】

ハードディスクを接続した本製品をパソコンに接続します。

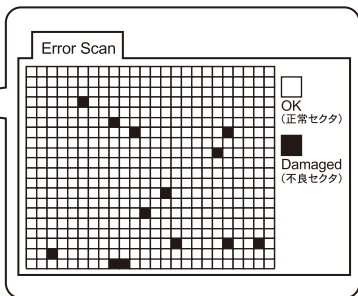
- ① 付属の AC アダプタを接続します。
- ② 付属の USB3.0 ケーブルを使用してパソコンと接続します。
- ③ パソコンを起動してから本製品の電源スイッチを入れてください。

※新しいハードディスクを接続した場合は、ドライブのフォーマットが必要です。

# エラースキップ機能に関して

従来の製品では、不良セクタがある場合はコピーが出来ませんでした。  
本製品ではエラースキップ機能を搭載することで、不良セクタがあった場合でも、コピーすることができるようになりました。

- HDD に読み込めないセクタ(不良)があっても、読み込めないセクタをスキップすることで止まることなくクローンが可能です。



- HDDから「カッシャン」「カチッカチッ」などの異音が出ている場合はクローンをおこなうことが出来ません。

- PCで認識しないHDDは、クローンスタンドでも認識していない可能性がある為、クローンを行うことが出来ないことがあります。





# クローンHDD作成時の注意点

【MAL-5135SBKU3のクローン作成時の注意点】

1. 以下のような症状が出て、クローンができません。  
クローンが開始されない。  
クローンが途中で止まってしまう。  
クローン開始直後にランプが消えて止まってしまう。  
→HDDに物理的なエラー(セクタ不良は除く)がある場合は、クローンが始まらない、止まってしまふなどの症状が起きますので、クローンがおこなえないことがあります。
2. HDDの容量が大きいものから小さいものへクローンできますか？  
→できません。なお、同じ容量表記であってもセクタ数がクローン先よりクローン元の方が大きい場合はクローンできません。



【容量500GB】

クローン(コピー)

【容量250GB】

3. クローンするHDDのOSやシステムに制限はありますか？  
→HDDのセクタデータをそのままクローンしますので、元のデータに制限はありません。(Windows / Mac / Linux / Unixデータ等は、クローン対応しています。)  
※環境によってはクローンしたOSを読み込まないことがあります。  
※HDDレコーダーに搭載されたHDDは、クローンが完了してもセキュリティ関連でレコーダーで認識されないことがあります。



Windows



Mac



Linux



Unix

# クローンHDD作成時の注意点

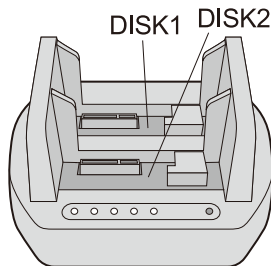
- クローン完了後に、未使用領域を1つの領域にまとめたい。  
→サポート外ですが、パーティションを操作するソフトを利用すれば可能です。  
ソフトに関するお問い合わせは、各ソフトウェア開発元にお問い合わせください。
- クローン後に Windows アップデート等ができなくなる。  
→Windows の再認証が必要な場合があります。  
認証方法に関しては、メーカー又はマイクロソフトにお問い合わせください。  
→非AFT仕様のHDDからAFT仕様のHDDにクローンを行った場合は、  
「インテル®ラピッド・ストレージ・テクノロジー」をインストール、更新を行うこと  
で解決する場合があります。  
※インテル製CPUの環境のみになります。  
※最新版がインストールできない場合は、過去のバージョンでもお試しください。
- セクター不良が多数あるHDDは、エラースキップしますが、クローンが終了する  
まで通常より時間が掛かることがあります。
- クローン先のHDDにセクター不良がある場合は、クローンは行えません。

# クローンHDD作成方法

DISK1に装着したHDDのファイルをDISK2のHDDにクローンします。DISK2のHDDはDISK1のHDDと同じ容量かDISK1のHDDより大きな容量のHDDを使用してください。

## ◆まず初めにお読みください◆

- ※DISK2のHDDに大切なデータが入っていないか確認してください。
- ※DISK2のHDDがDISK1のHDDより容量が小さい場合は、コピーボタンは機能しません。(クローンHDDは作成できません)
- ※DISK2に装着できるHDDは、初期化およびフォーマットしていないもの / 初期化してあるがフォーマットしていないもの(未割り当て状態) / あるいはHDD1と同じフォーマットのもの / HDD1とは違うフォーマットのもの / パーティションで分割してある等どんな状態のHDDでもクローンHDDが作成されます。クローンHDD領域が作成された残りの領域は「未割り当て」になりますので「ディスクの管理」でフォーマットをして活用できます。
- ※USBケーブルをつけたままですと、コピーモードは動作しません。



1. 【DISK1】にクローン元のHDDを入れてください。  
(データがすでに入っているHDDです)
2. 【DISK2】にクローン先のHDDを入れてください。
3. 電源を入れるとパワーランプ、HDD1、HDD2のLEDが点灯します。
4. コピーボタンをコピーモードインジケータが点滅するまでコピーボタンを長押しします。点滅しない場合は、再度コピーボタンを長押ししてください。
5. コピーモードインジケータが全て点滅したら、再度コピーボタンを押すとコピーインジケータの25%部分が点滅し始めてクローンが開始されます。
6. 終了するとコピーモードインジケータがすべて点灯したままになりクローンが完了します。

※コピーボタンを押しても反応が無い場合は、クローン条件が整っていない可能性があります。詳しくは、P7～8ページの【クローン作成時の注意点】をご覧ください。

# クローンHDD作成方法

7. クローンが完了したら電源を切ることができます。

クローンの進捗状況 (LEDの点灯イメージ)

【進捗状況：25%】



【進捗状況：50%】



【進捗状況：75%】



【進捗状況：100%】



不良セクタがあった場合 (LEDの点灯イメージ)

クローン時にセクタ不良があった場合、HDDアクセスランプ (DISK1orDISK2) が赤色に点灯しひとめで判断することができます。

- ・ DISK 1 に不良セクタがあった場合。  
⇒HDDアクセスランプ  
(コピーモードインジケータ－25%)  
が赤色に点灯。
- ・ DISK 2 に不良セクタがあった場合。  
⇒HDDアクセスランプ  
(コピーモードインジケータ－50%)  
が赤色に点灯。



不良セクタがあれば赤色に点灯。

※写真は、DISK1に不良セクタがあった場合です。

※クローンの途中で、電源を切ったり、HDD を外したりしないでください。

HDD の故障の原因となります。

※本製品をPCに接続しHDD DISK1およびHDD DISK2のマイコンピュータまたは「DISKの管理」でドライブ表示を見た場合、通常はHDD DISK1がHDD DISK2より若いドライブ表示されます。

#### 【通常の場合】

HDD DISK1:Eドライブ



クローン元



【クローン先】

HDD DISK2:Fドライブ



クローン先

#### 【HDD DISK2 が先に認識された場合】

HDD DISK1:Fドライブ



クローン元



【クローン先】

HDD DISK2:Eドライブ



クローン先

※例えば、HDD DISK1:Eドライブ HDD DISK2:Fドライブ

しかし、PCの状態によってはHDD DISK2のHDDが先に認識されHDD DISK1:Fドライブ HDD DISK2:Eドライブと表示されることがあります。

上記のどの場合であってもコピーボタンでクローンHDDを作成するのは「クローン元はHDD DISK1」「クローン先はHDD DISK2」です。

※クローン後に、DISK1,DISK2が同じPCで認識された場合は、どちらかのDISKがオフライン状態で認識されます。ディスクの管理にてオンラインに設定することでコンピュータ上に表示されます。

※セクター不良が多数あるHDDは、エラースキップしますが、クローンが終了するまで通常より時間が掛かることがあります。

※クローン先のHDDにセクター不良がある場合は、クローンは行えません。

# フォーマット方法

本製品で新品 HDD にデータを書き込む際は、初期化、フォーマットを行う必要がございます。

## 【接続を確認する】

P4「ハードディスクの接続方法」、P5「パソコンと本製品を接続する」の手順でパソコンに接続を行います。

「マイコンピューター」を開き、ドライブが表示されていることを確認します。

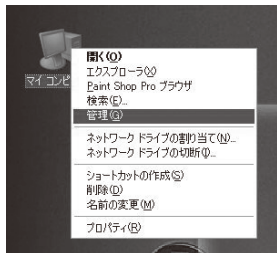
※取り付けしたハードディスクが新品・未フォーマットの場合は、パソコン上でアイコンが表示されません。必ずハードディスクの「初期化」の作業が必要となります。

※もし、上記の方法でもご使用できない場合はもう一度今までの手順(P4～P5)を再度確認してください。

## 【パーティションの作成とフォーマット（初期化）方法】

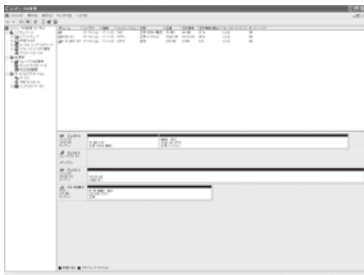
注意：ハードディスク内のデータがある場合は、すべて消去されますのでご注意ください。

①デスクトップのマイコンピューターを「右クリック」で開き「管理」を選択します。「コンピューターの管理」ウィンドウが開きます。



※マイコンピューターがデスクトップにない場合は、左下の Windows マーク(スタート)をクリックしてメニューの中のコンピューターを右クリックしてください。

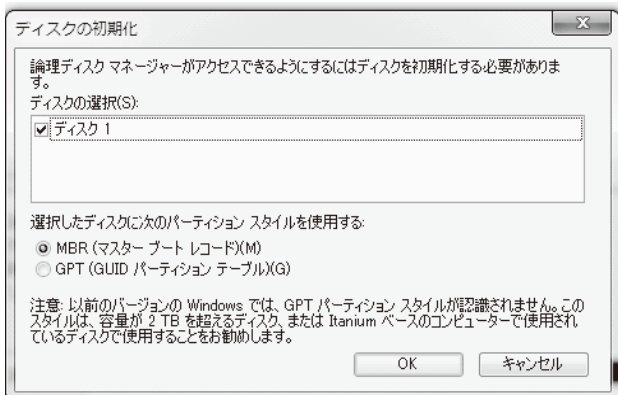
②「コンピューターの管理」ウィンドウの「ツリー」の中から「ディスクの管理」を選択すると、「ディスクマネージャーサービス」が表示されます。



- ③HDDの初期化が終わっていない場合は、★1部分を右クリックし、「ディスクの初期化」を選択します。初期化済みの場合は⑤の作業へ進みます。



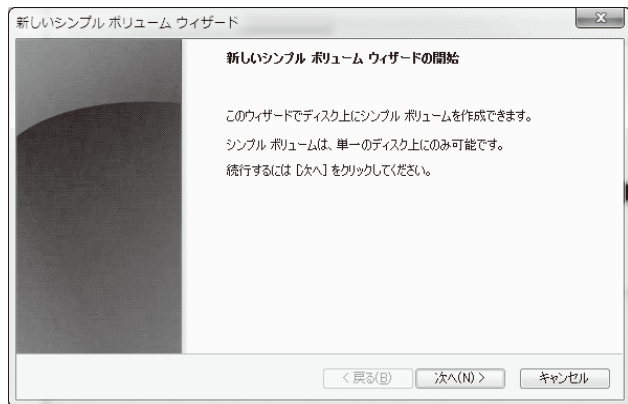
- ④HDDが2TB以下の場合「MBR」、HDDが2.5TB以上の場合「GPT」を選択してOKを押します。これでHDDの初期化を完了しました。



- ⑤★2部分で右クリックをして「新しいシンプルボリューム」を選択します。



- ⑥「新しいシンプルボリュームウィザード」が出ますので、「次へ」を選択します。

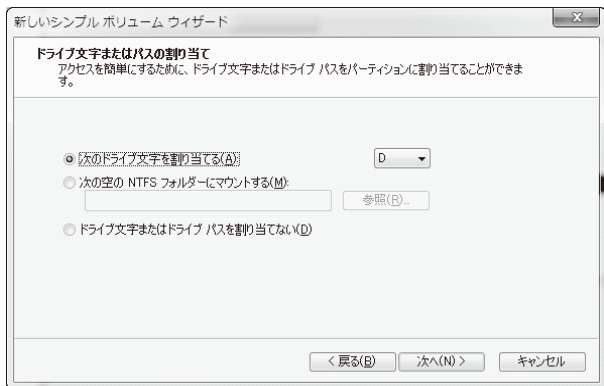


- ⑦「ボリュームサイズの指定」ではフォーマット領域サイズを指定することができます。パーティションを分ける場合は「シンプルボリュームサイズ」に任意のサイズを入力して「次へ」を選択します。パーティションを分けない場合は何も入力せず「次へ」を選択します。

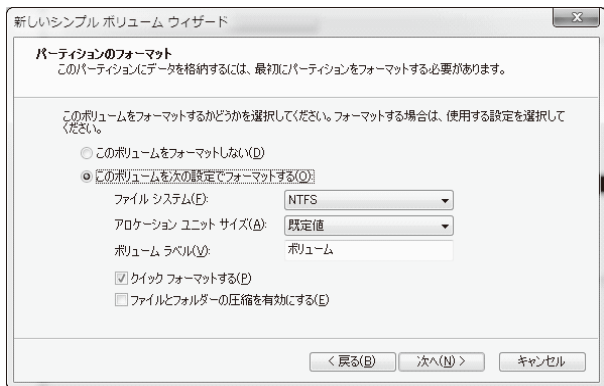




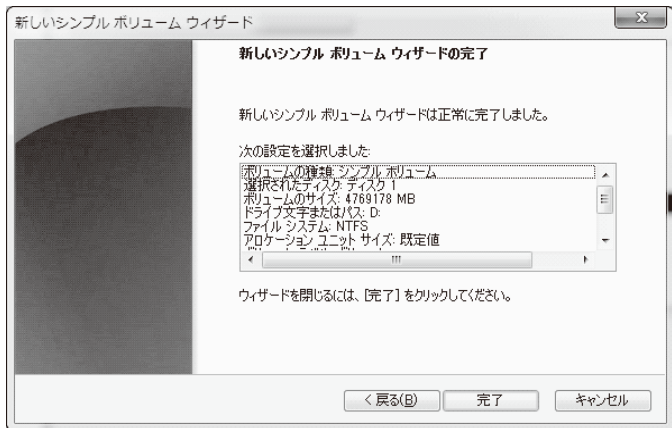
- ⑧「ドライブ文字またはパスの割り当て」ではドライブ文字(レター)を指定できます。指定する必要がなければそのまま「次へ」を選択します。  
※環境によってドライブ文字は変わります。



- ⑨「パーティションのフォーマット」では分かる場合は任意の設定をし、「次へ」を選択します。分からない場合はそのまま「次へ」を選択します。  
※クイックフォーマットにチェックが入っている場合はフォーマット時間が短くなります。  
※クイックフォーマットにチェックが入っていない場合はフォーマット時間が長くなります。



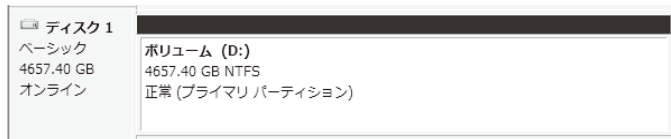
⑩「完了」を選択します。



⑪フォーマットが完了するまで待ちます。



⑫画像のようになればフォーマット完了です。



## フォーマット方法 (Windows8 / 8.1/10 の場合)

- ①デスクトップ画面を開きます。
- ②デスクトップ画面の左下(画像の丸付近)で、右クリック・長押しタップします。



【Windows8の場合】



【Windows8.1の場合】



【Windows10の場合】

③「ディスクの管理」を選択します。



④その後の操作は、P.13の③と同じ操作方法です。

※実際の Windows8 / 8.1 / 10の画面と異なる場合がございます。あらかじめご了承ください。

# フォーマット方法 (Macの場合)

- ①メニューバーから「移動」→「ユーティリティ」→「ディスクユーティリティ」の順番でクリックします。
- ②ディスクユーティリティウィンドウが開きます。ウィンドウの左側のリストに装着したHDD(ボリューム)があるのを確認します。装着されたボリュームを選択します。  
※Mac内蔵のHDDや別のHDDを選択しないように注意してください。



③「パーティション」タブを選択し、矢印先をクリックします。

RHD22DDH PFA-U3C8 Media

検証 情報 ディスクを作成 マウント 取り出す ジャーナル記録を開始 新規イメージ 変換 イメージのサイズを変更 ログ

Macintosh HD  
Macintosh HD  
126.7 GB RHD22DDH PFA-

First Aid 消去 **パーティション** RAID 復元

パーティションのレイアウト: パーティション情報

現在の設定 ▼ 名前: 名称未設定 1

フォーマット: Mac OS 拡張 (ジャーナリング) ▾

サイズ: 126.70 GB

選択したディスクを消去してパーティションを作成するには、「パーティションのレイアウト」ポップアップメニューからレイアウトを選択し、各パーティションのオプションを設定して、「適用」をクリックします。

+ - オプション... 元に戻す 適用

ディスクの説明: RHD22DDH PFA-U3C8 Media 総容量: 126.7 GB (126,701,535,232 バイト)

接続バス: USB 書き込み状況: 読み出し/書き込み

接続のタイプ: 外付け S.M.A.R.T. 状況: 非対応

USB シリアル番号: 00000000000000000000000000000000 パーティションマップ方式: フォーマットされていません

#### ④「1パーティション」を選択します。

RHD22DDH PFA-U3C8 Media

検証 情報 ディスクを作成 マウント 取り出す ジャーナル記録を開始 新規イメージ 変換 イメージのサイズを変更 ログ

Macintosh HD  
Macintosh HD  
126.7 GB RHD22DDH PFA-

First Aid 消去 **パーティション** RAID 復元

パーティションのレイアウト: パーティション情報

現在の設定  
1 パーティション  
2 パーティション  
3 パーティション  
4 パーティション  
5 パーティション  
6 パーティション  
7 パーティション  
8 パーティション  
9 パーティション  
10 パーティション  
11 パーティション  
12 パーティション  
13 パーティション  
14 パーティション  
15 パーティション  
16 パーティション

名前: 名称未設定 1

フォーマット: Mac OS 拡張 (ジャーナリング)

サイズ: 126.7 GB

選択したディスクを消去してパーティションを作成するには、「パーティションのレイアウト」ポップアップメニューからレイアウトを選択し、各パーティションのオプションを設定して、「適用」をクリックします。

+ - オプション... 元に戻す 適用

ディスクの説明: RHD22DDH PFA-U3C8 Media 総容量: 126.7 GB (126,701,535,232 バイト)  
接続バス: USB 書き込み状況: 読み出し/書き込み  
接続のタイプ: 外付け S.M.A.R.T. 状況: 非対応  
USB シリアル番号: 00000000000000000000000000000000 パーティションマップ方式: フォーマットされていません

⑤ 矢印先を選択します。

RHD22DDH PFA-U3C8 Media

検証 情報 ディスクを作成 マウント 取り出す ジャーナル記録を開始 新規イメージ 変換 イメージのサイズを変更 ログ

Macintosh HD  
Macintosh HD  
126.7 GB RHD22DDH PFA-

First Aid 消去 **パーティション** RAID 復元

パーティションのレイアウト: パーティション情報

1 パーティション

名前: 名称未設定 1

フォーマット: Mac OS 拡張 (ジャーナリング)

サイズ: 126.70 GB

選択したディスクを消去してパーティションを作成するには、「パーティションのレイアウト」ポップアップメニューからレイアウトを選択し、各パーティションのオプションを設定して、「適用」をクリックします。

選択したパーティションが作成されます。

名称未設定 1

+ - オプション... 元に戻す 適用

ディスクの説明: RHD22DDH PFA-U3C8 Media 総容量: 126.7 GB (126,701,535,232 バイト)

接続バス: USB 書き込み状況: 読み出し / 書き込み

接続のタイプ: 外付け S.M.A.R.T. 状況: 非対応

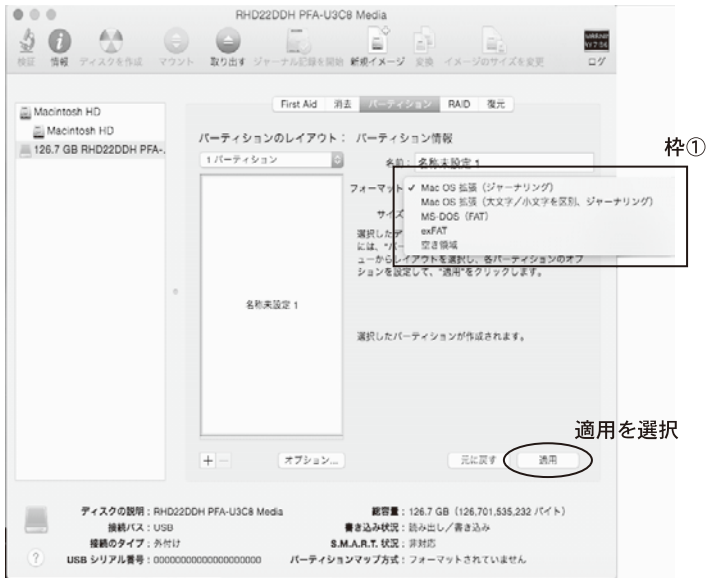
USB シリアル番号: 00000000000000000000000000000000 パーティションマップ方式: フォーマットされていません



⑥ 枠①部分でお好みのフォーマット方式を選択します。

- ・ Mac OS 拡張：MAC のみで認識
  - ・ MS-DOS：Windows でも認識可能
  - ・ exFAT：Windows でも認識可能
- ※Windows でもお使いする場合は、「exFAT」をお勧め致します。

フォーマット方式を選択しましたら、「適用」を選択します。



⑦最後に「パーティション」を選択すると、フォーマットが開始されます。



ディスク「RHD22DDH PFA-U3C8 Media」にパーティションを作成してもよろしいですか？

このディスクにパーティションを作成すると、パーティションの1つが変更されます。パーティションが削除されることはありません。

このパーティションが追加されます：  
“名称未設定 1”

キャンセル

パーティション

# よくあるお問い合わせ Q&A

クローン(コピー)に関するお問い合わせに関しては、まずP9～10の(クローンHDD作成時の注意点)も合わせて参照してください。

Q: TVで接続することは可能ですか？

A: 接続可能ですが、すべての機種で動作を保証するものではありません。

Q: 6TB、8TBまでのハードディスクを使用できますか？

A: 使用可能です。動作確認をしております。

Q: OSをインストールして本製品から起動させることはできますか？

A: 対応しておりません。

Q: クローンの速度はどのくらいですか？

A: 最大約255MB/sになります。使用するHDD、SSDによっては最大速度まで出ない場合がございます。

Q: エラースキップ(不良セクタスキップ)機能は搭載していますか？

A: 搭載しておりません。

Q: HDD1台をPC接続で使用しているときに、空いたスロットにHDDを差し込んでも問題ないでしょうか？

A: 空スロットを抜き差しすると、一旦リセットされる構造になっておりますので、HDDにアクセスしているときは抜き差しを行わないでください。

Q: クローンが完了すると、HDDの回転は止まりますか？

A: クローンが完了した場合、HDDの回転は停止します。

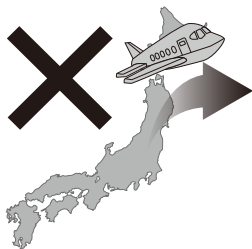
Q: 以下のような症状の場合、不良の可能性があります。サポートセンターまでお問い合わせください。

- A:
- ・ 外付けHDDスタンドとして使用しようとしたらHDDを認識しない。
  - ・ 2台HDDを挿入しても1つだけLEDが点灯をしない。
  - ・ HDDのランプが点灯せず、HDDのモーターが回転しない。
  - ・ 電源ボタンを押しても電源が入らない。

## よくあるお問い合わせ Q&A

- Q. 2台のHDDと1つの領域(J-BOD)として使用することはできますか？  
A. 仕様上、対応しておりません。

- Q. 海外への持ち出し(輸出)はできますか？  
A. 弊社では対応しておりせん。輸出の際に必要な非該当証明などの発行も一切行っておりません。また、海外使用での故障、不具合などでのサポートは受けられません。



- Q. USB3.0の速度が出ません、何故でしょうか？  
A. USB3.0ポートが増設によるものである場合、お使いのPCのPCI-Expressポートのバージョンを確認してください。PCI-Expressには、Rev.1.1のものがあり、転送速度が双方向それぞれ250MB/sとなります。一方、PCI-Express Rev.2.0では、転送速度は双方向それぞれ500MB/sとなります。USB3.0は理論上500MB/sの転送を可能としているので、PCI-Express Rev.1.1に増設している場合、理論上250MB/sの転送が上限となり、結果的にデータの転送速度が遅くなる場合がございます。
- Q. USB3.0、PCI-Express Rev.2.0でも速度が速くなりません。  
A. お使いのハードディスクのSATAバージョンをご確認ください。お使いのハードディスクがSATA1.0(150MB/s)の場合は、150MB/sの速度が理論上最大となります。なお、本製品はSATA2.0(300MB/s)までの対応となります。

## サポート先へのお問い合わせ

本製品の修理・操作方法・お手入れ方法などのご相談は、下記のメールアドレスからお問い合わせください。

MARSHAL サポート

✉ [support@marshal-no1.jp](mailto:support@marshal-no1.jp)

※サポートはEメールのみとなります。予めご了承ください。  
※営業・サポートの受付は、平日のみとなります。

# 本製品の仕様

型番	MAL-5135SBKU3
対応PC	USB2.0以上の端子を持つDOS/V機
対応OS	Windows10/Windows8.1/Windows8/Windows7/VISTA
インターフェース	USB3.0 / USB2.0
USBコネクタタイプ	USB3.0 Standard-B
対応ハードディスク	SATAタイプのHDD・SSD <sup>※1</sup>
RAID 対応	無し(スタンダードのみの動作)
搭載可能HDD	最大 2台 (HDDの最大容量は各 8TB まで) <sup>※2</sup>
使用温度範囲	5℃～40℃
使用湿度範囲	30%～90%(結露が無い状態)
電源	付属のACアダプターより供給 <sup>※3</sup>
ACアダプター	入力:AC100V～240V(50-60Hz) 出力:DC +12V/3.0A
消費電力	約 0.01kwh/時 (瞬時電力:約 20W) <sup>※4</sup>
本体のサイズ	約(W)180×(D)136×(H)100mm
重量	約300g(本体のみ)

※1 IDEタイプのHDD・SSDは対応していません。

※2 8TBを超える容量は2015年8月現在未検証です。

※3 USBバスパワーでは動作しません。

※4 MAL32000SA-W72を使用した数値です。

## ■注意事項

※本製品には、ハードディスクは含まれておりません。

※製品の仕様は、予告無く変更する場合があります。

どこよりも安い!! ハードディスクを格安で買うなら!

## HDD 専門店 ハードディスク激安市場

その他 PC パーツも多数品揃え!

もちろん MARSHAL 製品も取扱あります!

ハードディスク激安市場

<http://shop.marshall-no1.jp/>

HDD・パソコン周辺機器を買うなら!

## 【楽天市場】 PREMIUM STAGE

大手通販サイトの楽天市場でも出店中!

楽天ポイントで HDD も購入できます!

【楽天市場】 PREMIUM STAGE

<http://www.rakuten.co.jp/marshall/>

ハードディスクの大人気モデルから、貴重な商品まで取扱中!

## 【Amazon】ハードディスク激安市場

世界最大のオンラインショップに出店中!

豊富なラインナップで取り揃えています。

【Amazon】ハードディスク激安市場

Amazonサイトで好評販売中!

# プレミアムステージ PREMIUM STAGE

MARSHAL ディレクトリアル店  
Since 2015

MARSHAL 株式会社は、お客様から要望の多かったインターネットショップ「PREMIUM STAGE」の実店舗を秋葉原ジャンク通りにオープンしました。実店舗では、ノートパソコン、HDD・HDDケースをはじめとするパソコン用周辺機器、デジタル雑貨(ガジェット)、スマートフォン用周辺機器、その他インターネットショップ同様数多くの商品を取扱います。

製品の質感や操作性などインターネット上では体験することができない、試用コーナーを設けたり、

対面接客ならではのサポートサービス・修理対応を行うことで、インターネットショップとはまた違う販売方法を行っていきます。

秋葉原  
リアル店

東京メトロ銀座線 末広町駅から徒歩2分

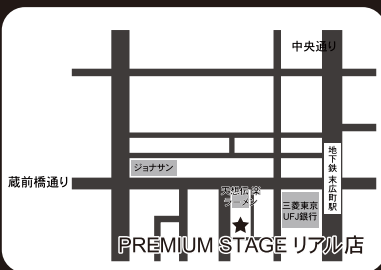
東京都千代田区外神田3-8-3

TEL 03-6206-9802 FAX 03-6206-9812

営業時間 平日 12:00 ~ 19:00

土日・祝日 11:00 ~ 18:00

定休日 火曜日



iPhone 修理の事なら  
お気軽にご相談ください。

主な修理メニュー

ガラス交換

¥5,800～

液晶パネル一式交換

¥8,800～

バッテリー交換

¥5,800～

その他部品修理

¥5,800～



修理対応端末

iPhone6 / iPhone6 PLUS / iPhone5 / iPhone5C

※修理時間等の詳細は店舗でご確認ください。



PREMIUM STAGE リアル店のツイッターのアカウント。  
皆様との交流の場として活用していきたいと思っています。  
フォロー宜しくお願い致します。



Twitter アカウント

@marshal\_real

プレミアムステージ  
PREMIUM STAGE

MARSHAL ダイレクト リアル店  
Since 2015

店舗へのお問い合わせは下記メールアドレスへご連絡下さい。

real-shop@marshal-no1.jp

Presented by **MARSHAL**



***MARSHAL***